

# 002 町と時代

しもべたちよ

動けぬ  
私にかわって  
山を下りるのだ



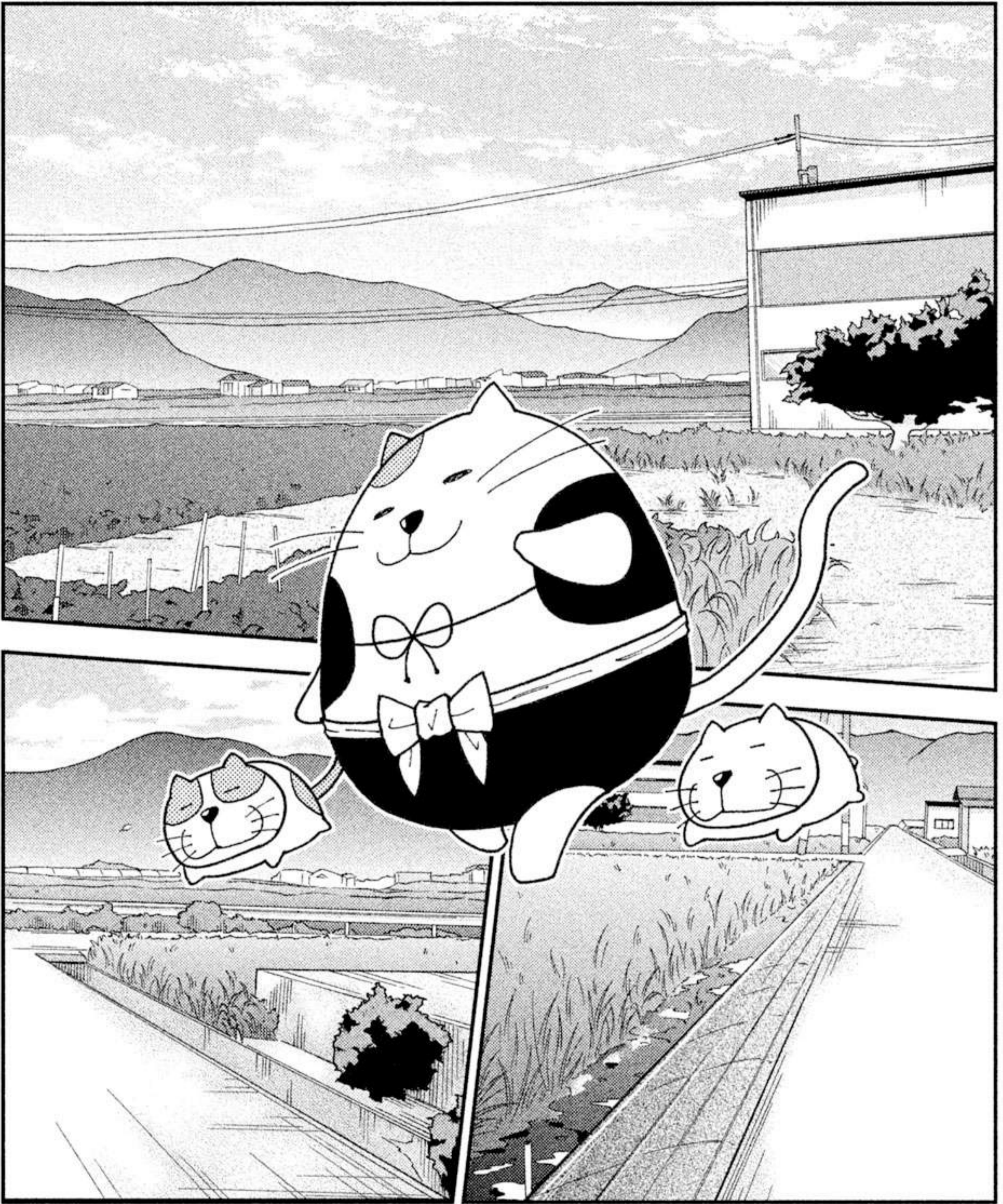
そして  
私の目となり  
耳となり  
町を見て回るのだ



まず  
りっくんを  
見つけよ

りっくんの家を  
探すのだ



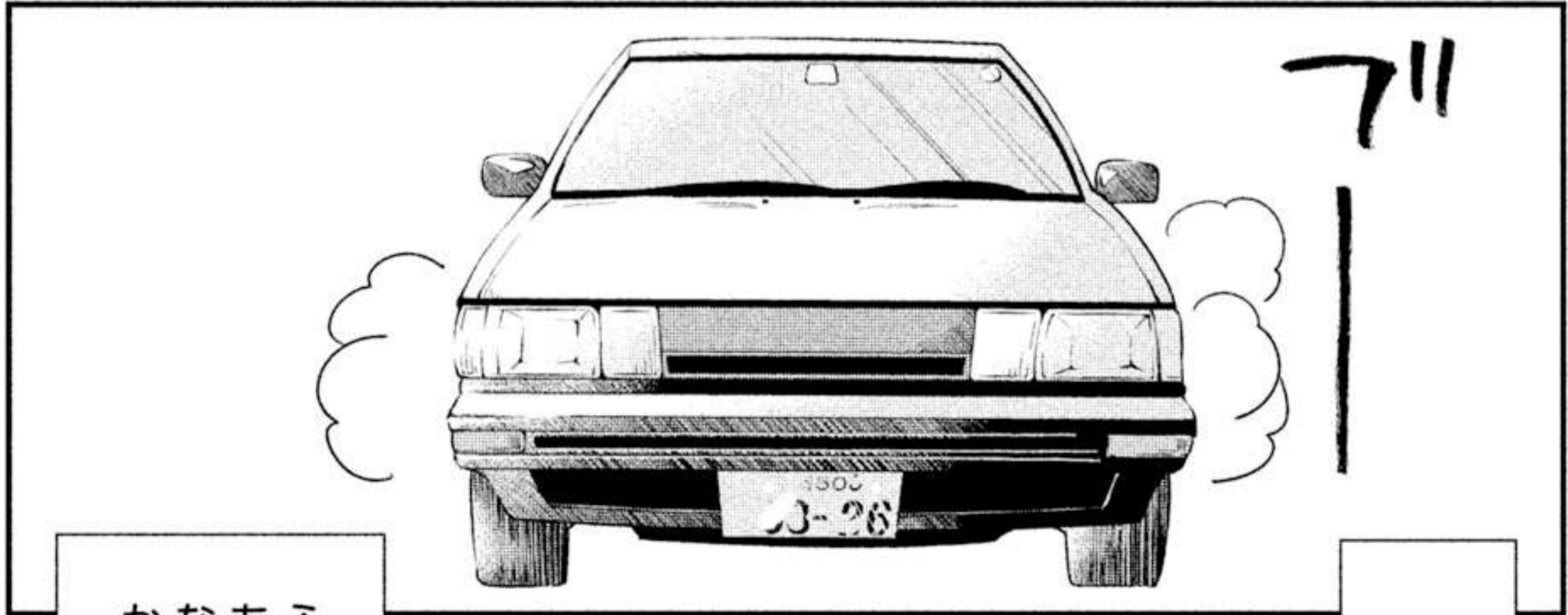




使いを  
下ろしたのも  
久しぶり  
だからな

これが  
今の世  
今の町か

さまが  
様変わ  
りした  
ものだ



自動車

ふむ今は  
あんなか  
なかなか  
かつこいな



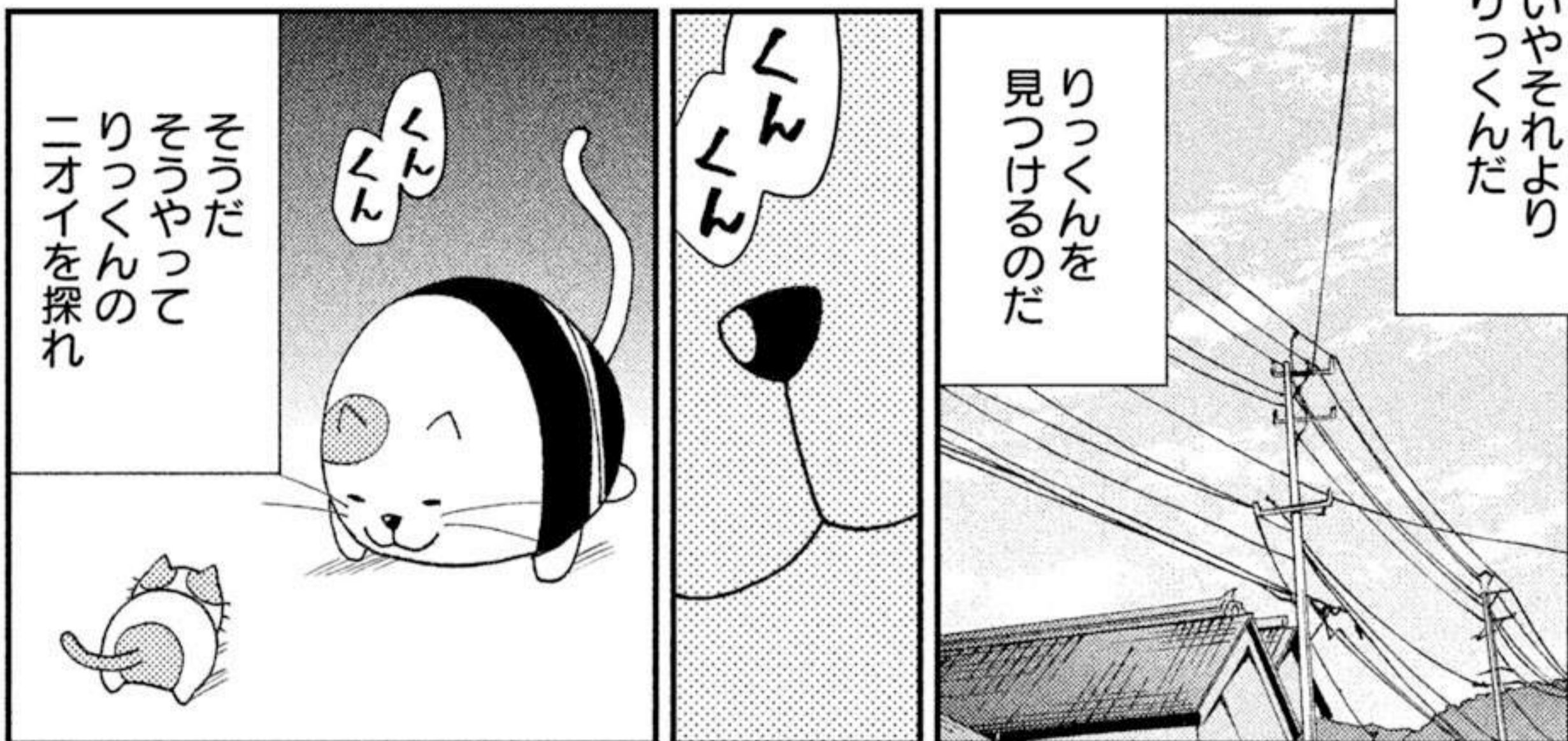
いやそれより  
りっくんのだ

りっくんを  
見つけるのだ

くん  
くん

くん  
くん

そうだ  
そうやって  
りっくんの  
ニオイを探れ



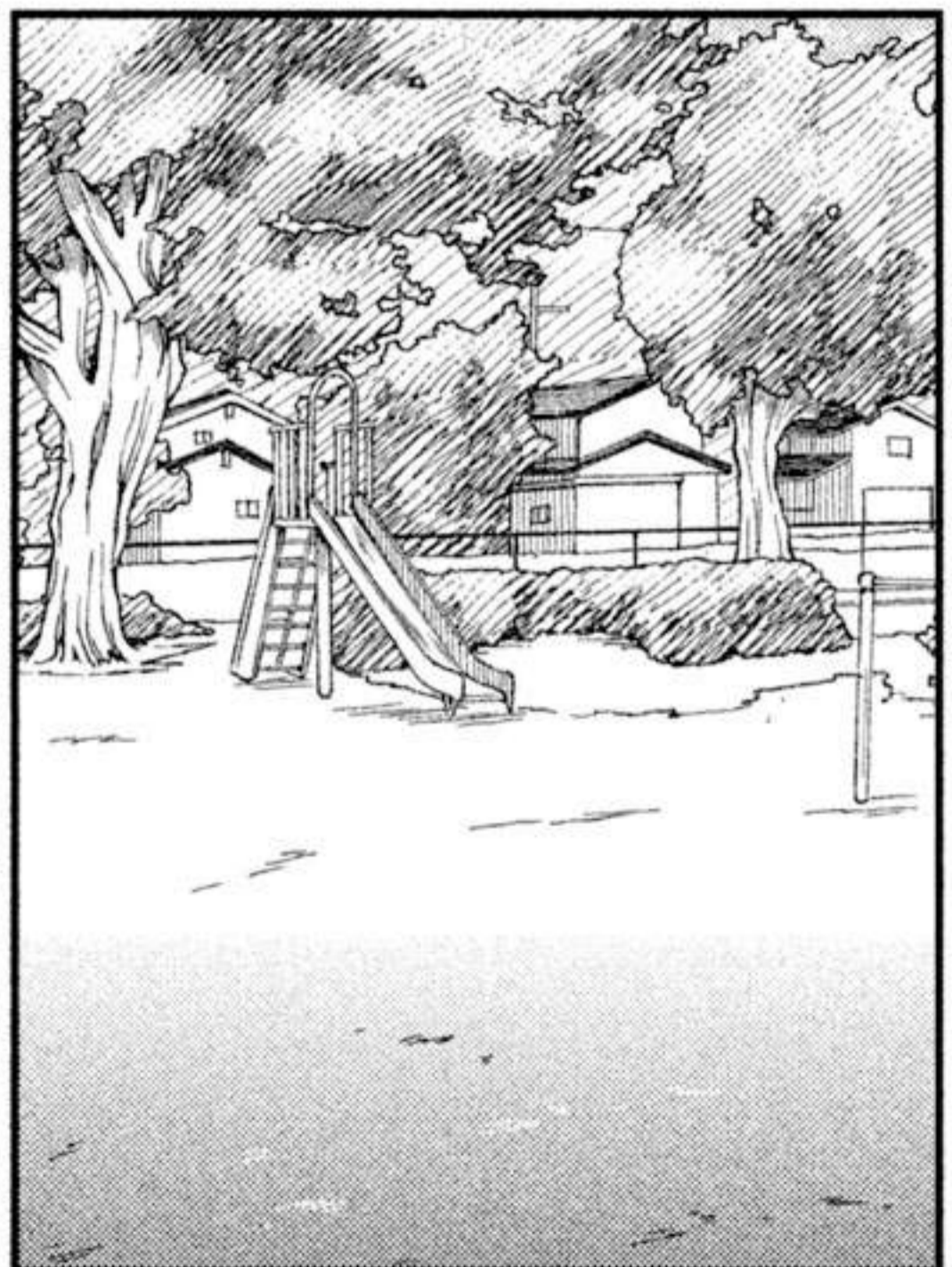
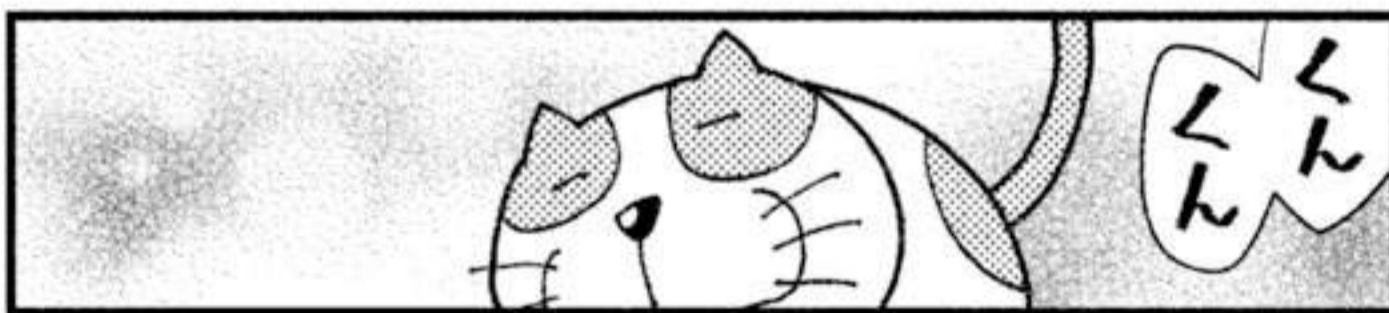
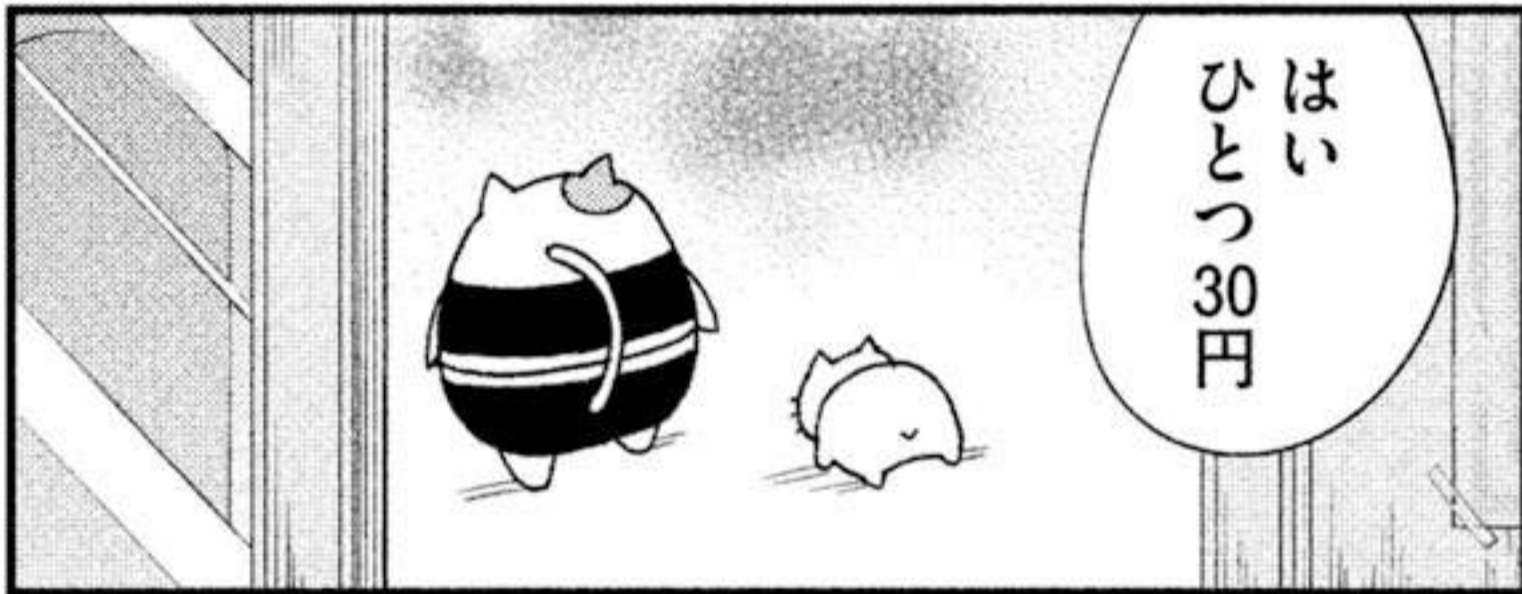
よし  
見つけたか



うーむ

子どもは  
いるが









ニオイは  
するが

ここにも  
いない

しかし

楽しそうだ

今の世の  
子どもたちは

町は

私から見て  
とても楽しそうで  
元気に見える

りっくんの  
家だ

くん  
くん

見つけた

明日月







ボール  
追いかけてたら

いやーふたりして  
田んぼの堆肥に  
突っ込んでじゃってさ

まは。ん



え!?  
くさい!!

ふたりとも  
何その  
ニオイ!!



ん?

くん  
くん  
くん

きゅん

きゅん

ようやく  
見つけたぞ  
りつくん



ゆうはん  
なにー?  
おなかすいた

おフロ!!  
おフロが  
先!!



んんん...

きゅん

いやニオイは  
もういいから



お前たち

おい  
どこへ行く



おーい

くわん

くわん